

Bouquet

中央区男女共同参画ニュース「ブーケ」

No.94 2024.2

中央区男女共同参画ニュース「Bouquet（ブーケ）」は男女平等センターや区の施設などで配布しています

- 特集：さまざまな家族の形
— 違いを知り、違いを楽しむ —
インタビュー 杉山 文野さん
(株式会社ニューキャンパス代表、
NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事)
- 輝く人にインタビュー in 中央区
桐渕 真人さん (ピープル株式会社 取締役兼代表執行役)
- 令和5年度中央区男女共同参画リーダー研修
を開催しました



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を
支援しています

さまざまな家族の形

— 違いを知り、違いを楽しむ —

インタビュー 杉山 文野さん (株式会社ニューキャンバス代表、NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事)

フェンシング女子日本代表として活躍した後、トランスジェンダーであることをカミングアウトし、現在は3人親として子育て真っ最中の杉山文野さんに、既存の概念におさまらない家族の形をつくるまでのこと、多様化する社会を生きるすべについて、お話を伺いました。

**トランスジェンダーである自分と
社会の関係性**

— 初めての著書『ダブルハッピーネス』を書いた頃のことをお聞かせください

当時、性別違和による葛藤みたいなことはありましたが、あくまでも自分のことであって、トランスジェンダーが社会的にどのような存在なのかということまでは考えたことがなかったんです。『五体不満足』の著者・乙武洋匡さんに出会ったことがきっかけで、「本を書いてみたいか」と誘われ、「できることがあったらやってみよう」というくらいの想いで書いたというのが正直なところなんです。僕と同じような境遇の方が診断書をとるためにカウンセリングの一環として生い立ちを書いていて、「フミノもやってみれば？」と勧めてくれたので、小さい頃のことなど書き溜めていました。本ではそういうものをベースに個人的な体験や感情を整理すると同時に、大学の卒業論文は『生と性と正』というテーマで多様な性について書き、大学院ではその教育的な課題をアカデミックなアプローチで修士論文にまとめました。ふりかえってみると、本と論文を書く作業は、自分と社会との関係性のようなものを知る作業だったのかなと思います。

**LGBTQ[※]に関する相談窓口や
情報の不足**

※P5キーワード参照

— 身近な相談相手はいらっしゃいましたが
大学生のとき「自分と同じような境遇の人

に会ったことがない」と話したら、「うちの大学にはたくさんいる」と、女子サッカー部所属のトランスジェンダーの人を紹介してもらったんです。同世代の当事者にお会いするのは初めてでした。その人に友達を紹介してもらったり、イベントに連れて行ってもらったりして、出会う機会が増えていきました。

特に10代の当事者は情報を得ることが難しく、どこに相談してよいかわからなくて困っています。相手が同性であるというだけで恋愛の悩みを誰にも話せず心を病んでしまうことも多いので、当事者でも当事者でなくても、あたりまえのように対話ができることこそが大事だと思います。就職もLGBTQに理解のある企業は増えていきます。当事者以外でも困っているのが当事者の親御さんです。子どもからカミングアウトされて、誰に相談していいかわからない。サポート団体は増えていますが、ご家族やまわりのサポートは限られています。トランスジェンダーに理解のある医師、弁護士の情報も足りません。

3人で親になる

— なぜ3人で子育てをするという選択になったのですか

僕は愛情いっぱいのお家庭で育ったので、家族に対してとてもよいイメージがありました。いずれは子どもがほしいという漠然とした思いはありましたが、トランスジェンダーである自分が子どもを産む、パートナーと子どもをつくる、ということが全く想像できま

杉山文野



せんでした。パートナーに出会って3年程がたち、これからも一緒にいたい、子どももほしい、という自然な感情が湧きましたが、やはり無理かなと思っていたのです。

子どもを持つことが自分ごとになったのは、2013年に最高裁で逆転勝利した「GID（性同一性障害者）法律上も父になりたい裁判」を手伝うことになり、原告の方とご家族にお会いしたときです。待ち合わせの場所に「ちよっと子どもがぐずって遅

れちゃって」と言いながら原告の彼が来て、子どもたちが「パパー！」と甘えてしがみつき、それを微笑んで見ているパートナー。それを見て「こんないい家族を家族と言えない日本の社会ってなんだろう。血のつながりさえこだわらなければ、僕にも可能性があるかもしれない」と思いました。

この裁判は、手術して戸籍の性別も変更したトランスジェンダーの男性が女性と結婚し、第三者から精子提供を受けてもうけた子

どもが嫡出子として認められないのはおかしいと戸籍の訂正を申し立てたもので、ニュースで見た当初は自分ごとと思えませんでした。彼女とは子どもを持つ可能性も話してはいましたが、これをきっかけに少しずつ具体的に話し合ったり行動したりするようになりました。彼女には産めるなら自分で産みたい、知っている人から精子提供を受けたいという希望がありました。それで、子どもが大好きだし、ほしいと思うが、今の日本ではあきら

すぎやま ふみの

1981年東京都新宿区生まれ。トランスジェンダー。フェンシング元女子日本代表。早稲田大学大学院でセクシュアリティを中心に研究し、2006年『ダブルハピネス』（講談社）を出版。卒業後は2年をかけて、世界約50カ国と南極をバックパッカーとして巡る。帰国後、一般企業に約3年勤めた後独立。飲食店の経営をしながら、講演活動などLGBTQの啓蒙活動を行う。日本初となる渋谷区・同性パートナーシップ制度制定にも関わり、アジア最大級のPrideを運営するNPO法人東京レインボープライド共同代表理事を務める。2021年より公益社団法人日本フェンシング協会と公益財団法人日本オリンピック委員会理事も兼任。ゲイの親友から精子提供を受け、パートナーとの間に2児をもうける。現在は親友を交えた3人で子育てに奮闘中。『ヒゲとナブキン』（小学館／原案）『元女子高生、パパになる』（文藝春秋）『3人で親になってみた』（毎日新聞出版）『子どもを育てられるなんて思わなかった』（山川出版）など。



『3人で親になってみた
ママとパパ、ときどきゴンちゃん』
杉山文野 著 毎日新聞出版



東京都のLGBTQ相談

性自認及び性的指向に関するさまざまな悩みや不安について電話、LINEによる相談を受け付けています。ご本人だけでなく、ご家族等からのご相談も受け付けています。

■ Tokyo LGBT 相談
(専門電話相談)
050-3647-1448
受付時間
火曜日・金曜日
18時～22時
(祝日・年末年始除く)



■ Tokyo LGBT 相談
(専門LINE相談)



LGBTQ+ の若者支援

LGBTQ+ の若者が安心して集える常設の居場所、相談窓口があります。

■ プライドハウス東京レガシー



違いこそが人生の彩り

——「違いを知り、違いを楽しむ」ことについてお聞かせください

僕は東京レインボープライドというLGB

めざるを得ないと考えていたゲイの友人に相談し、精子提供を受けることになりました。子どもにとって一番よい環境で育てたいと考えた僕たちは、子どもの人権を専門とする弁護士にも相談しました。病める時も健やかなる時も乗り越えられるように、ありとあらゆる最悪のケースを想定して、ひとつずつクリアにしていきました。最終的には、走りながら考えてみようということで、僕と彼女と子どもふたりの4人が一緒に暮らし、定期的な彼が家に来て関わるという形をとりました。3人が協力しないと授けられない子どもなのに、僕たちだけが親になり、彼が親になれないのはフェアではないと思ったからです。

Tの啓発団体の代表、飲食店の経営など一貫してさまざまな人が集う場をつくる仕事をしています。さまざまな人との出会いがあったから今の自分があり、今度は自分がそういう場を作る側になれたらと思っています。人と違うことがいけないという感覚で来たけれど、みんなが同じだったらつまらないし、違いこそが人生の彩りではないかと思うようになってきました。昔、僕が悩んでいた頃はみんなと違う自分にコンプレックスを持っていましたが、違いがあるからこそ出会えた人がいるし、気付けたことがあります。

経済的成長期には、みんなが同じことをする方が効率的だったかもしれない。でも、社会が成熟期に入り、物も人も事もあらゆる情報が瞬時に交わる今、みんなが同じことをやってもイノベーションは生まれられないと思うんです。効率的ではないかもしれないけれど、違うものをかけあわせることで新しいものが生まれていく。そうしないと多様化する時代は生き残れないと思っています。自分と違う人を受け入れられないのは、逆

に言えば、人と違う自分を受け入れられないということ、それは苦しいと思うんです。興味があれば、インターネットの情報だけで終わらせないで、手を動かしたり、足を運んで、世の中には自分と違う人がいると体験することが大事な時代になっていると思います。僕がこういう価値感を持つようになったのは、旅に出るなど自分から動いて体験を積み重ねたことが大きかったです。

自分は人と違う存在だと自分自身を知る。どんなことでもやってみると、好きなこと、できること、できないことがわかります。自分のことがわかってくると、相手の違いも受け入れられるようになると思います。

まずは、自分の中にある違いを楽しむのが一番だと思えます。例えば、行ったことのない駅に行く、いつもと違うスーパーで買い物するなど、昨日とは違う行動を起こすと、自分の中にある違う感覚や感情に出会えます。自分の中の多様性に気付くことが、違いを知り、違いを楽しむことにつながると思います。

東京都パートナーシップ宣誓制度をご存じですか？

■性的マイノリティが暮らしやすい環境づくりに向けて

令和4（2022）年11月1日、“多様な性”への理解を深めて、“性的マイノリティが暮らしやすい環境づくり”につなげる「東京都パートナーシップ宣誓制度」の運用が始まりました。これはパートナーシップ関係にある二人からの宣誓・届出を東京都が受理したことを証明する制度で、受理証明書が交付されます。

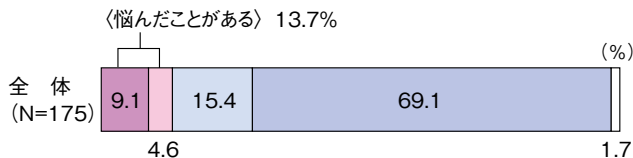
制度の根拠となっているのは、平成30（2018）年10月に制定された「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」です。この条例では「いかなる種類の差別も許されないというオリンピック憲章にうたわれる理念が、広く都民に浸透した都市を実現しなければならない」と明記されています。

データ

性的指向や性自認について悩んだ経験

中央区の中学生・高校生世代では、自身の性自認や性的指向について悩んだことがある人が10人に1人以上います。

性(性的指向)や心の性(性自認)について悩んだことの有無



- 悩んだことがある(今、悩んでいる)、周りで悩んでいる人がいた(いる)
- 悩んだことがある(今、悩んでいる)が、周りに悩んでいる人はいなかった
- 悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた(いる)
- 悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった
- 無回答

資料：
『中央区男女共同参画に関するアンケート調査(若年層調査)』(令和3年)

キーワード

◆ **LGBTとSOGI**：LGBT(エル・ジー・ビー・ティー)とは、L=レズビアン(女性同性愛者)、G=ゲイ(男性同性愛者)、B=バイセクシュアル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)の頭文字をつないだ、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を表す言葉の一つです。近年では、LGBTの末尾にQ=クエスチョニング(性のあり方をあえて決めないまたは決められない人)またはクィア(多様な性を包括する言葉)を加えてLGBTQと言われることもあります。また、SOGI(ソジ、ソギ)という言葉もあります。SOGIは、どの性に恋愛・性愛感情を持つかという「性的指向(sexual orientation)」、自分の性をどう認識しているかという「性自認(gender identity)」の頭文字をつないだもので、すべての人の性のあり方を人権として尊重する考え方に基づく表現です。

■制度のあらまし

◆対象となる人

パートナーシップ関係にある二人です。パートナーシップ関係とは、双方またはいずれか一方が性的マイノリティ(LGBT等)であり、人生のパートナーとして相互の人権を尊重し、日常生活において継続的に協力し合うことを約した二人の関係を指します。

◆手続はオンラインで完結

パートナーシップ関係にあることを宣誓し、必要書類等を提出すると、受理証明書が発行されます。原則として届出から発行までオンラインで手続きができます。

※詳しくは東京都のホームページをご覧ください。



■受理証明書の活用

法律行為である婚姻とは異なり、パートナーシップの宣誓により法律上の効果を生じさせるものではありませんが、東京都は、日常生活のさまざまな困りごとなどの場面で受理証明書を活用できるよう、都内自治体や民間事業者との連携・協力等に取り組んでいます。

※受理証明書を活用できるサービス等は、東京都のホームページでご確認ください。



民間事業者の皆さまへ

— 性の多様性に配慮したサービス提供の例 —

- ・賃貸物件の紹介における性の多様性への配慮
- ・診療情報や面会の機会などにおけるパートナーへの提供
- ・携帯電話などの家族を対象とした割引の適用
- ・生命保険の受取人の指定
- ・自動車保険の特約等におけるパートナーの適用
- ・損害保険の補償の範囲におけるパートナーの適用
- ・住宅購入時のペアローンの利用

資料：『東京都パートナーシップ宣誓制度』をよりよく知るためのハンドブック

子どもの好奇心に 応える おもちゃを作る

桐渕 真人さん

(ピープル株式会社 取締役兼代表執行役)



きりぶち まさと：1979年生まれ。2005年3月 公立はこだて未来大学システム情報科学部卒業、ピープル株式会社入社。2019年4月 当社取締役兼代表執行役就任、現在に至る。2人の男の子の父。

東日本橋に本社を構え、乳幼児向けのおもちゃを企画開発・販売している桐渕真人さんに、子どもたちの「好奇心」を止めないことの大切さについてお話を伺いました。

■面白いおもちゃを作りたい

——どんな会社ですか

昭和57年に私の父が創業して乳幼児の玩具を企画開発・委託生産による販売をしています。私は平成31年に代表になりましたが、役員4人のうち3人は女性、男性は私だけです。社員は8割強が女性です。外国籍の方も1割いますね。性別や国籍に関係なく、一緒に面白いおもちゃを作りたいと思った人を採用した結果です。

■子どもの好奇心に注目する

——おもちゃの開発で大切にしていることをお聞かせください

我々が注目しているのは子どもの好奇心です。「やりたい放題」という商品がありまして、その一つにティッシュを引き抜いたずらをおもちゃにしたものがあります。子どもは1歳前後になると、ほぼ全員がそういう行動をしますが、それは成長の過程でどうしてもやりたくなる好奇心ではないかと仮説を立て、それに思う存分応える商品を作ったらこんな形になりました。大人にとってやってほしくないことを止めるのではなく、思う存分にやらせてあげよう

というメッセージを発信するのが我々の役割だと考えています。

世の中には子どもの好奇心が止められてしまうことがあります。例えばおままごとや人形遊びをしている男の子に、他の子や大人が「どうして女の子の遊びをするの」と言うことがあります。「男の子だから、女の子だから」ということが子どもの好奇心を止める理由になつてはならないと思います。

「男の子は青が好き、女の子はピンクが好き」などの思い込みを一度疑い、大人のバイアスが全くかからない状態で子どもはどうなるかという観察に一番時間をかけます。我々は、まだ言葉をうまく使えない子どもたちの本音、本能的な欲求や好奇心を見つけておもちゃという形に変換することを得意とするメーカーです。そういう方法でおもちゃを作ることが、子どもが本能的にやりたいことを思う存分できる世の中に変えていく結果をもたらすと思っています。

■子どもたちの発想に学ぶ

——個性とは何でしょうか

生まれ持った個性とは、何が好きかということだと思っただけです。ゆっくりでも、好きなことを



夢のような毎日をドライバーから生みだすDIY玩具「ねじハピ」

一生追求し続けることが価値になり、もしかすると人類が一歩前進するものになるかもしれません。好きなこと、個性を止めてしまうことは、人類の進歩を妨げてしまうのではないかと思うんです。

京都のある学校と一緒に小学生がおもちゃを作るプロジェクトをやっていますが、大人がSDGSとか、ジェンダーとか、そういう投げかけをしなくてもたくさん意見が出て、みんなに優しいおもちゃを作ろうという発想になってくるんですね。子どもたちの知性というか、大人のバイアスに染まっていない状態ってこんなにポテンシャルがあるんだと感じます。大人の指示がそのポテンシャルを全部ないものにしてしまうということを学びました。本当に子どもが先生です。

報告
男女共同参画講座
カジュアルてつがく対話
家族ってなんだっけ？父親ってなんだっけ？

10月28日、NPO法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ副代表理事の河野哲也さんをお迎えし、「家族とは？」「父親とは？」という正解のない問いについて、みんなで対話しながら考えるワークショップを行いました。自分の家族観、父親との関係、父親としての家族とのかかわり方について、子どもがいるいないを問わず、それぞれの立ち位置から見つめなおしました。



左上が河野 哲也さん
「家族の中での父親の役割とは」を巡り、車座で対話

報告
男女共同参画講座
親の自立・子の自立
林恭子さんと考える
ほごよい親子の関係とは

11月18日、一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事の林恭子さんをお招きして、「毒親」や「親ガチャ」を乗り越え親と子がともに自立する「ほごよい親子関係」について、講師と一緒に考える講座を開催しました。

まずご自身の不登校・ひきこもり体験から「親子であっても別々の人格を持った人間同士。わがらうとしてくれる気持ち」が大切と爽やかに説明されました。

親には、「良かれと思って」言うことが、本当に子のためなのか、実は親自身のためや世間の目を気にして、になってはいないだろうか。また、世代の違う子が、今どんな時代を生きているのかを理解し、最後まで聞いてあげることが大事では、とのアドバイスがありました。

子には、生きづらさの原因について、一度はつきりと本当の気持ちを声に出してみては、と背中を押されました。最後に、参加者の質問への回答コーナーは、参加者も一緒に新たな親子関係を考える有意義な機会となりました。

事業協力スタッフ 榮木 照明
(さかえきてるあき)



林 恭子さん

報告
クリスマスピアノコンサート

12月23日、男女平等センター「ブーケ21」のピアノボランティアによるピアノコンサートを開催しました。6組・7人の演奏者がクリスマスにふさわしい選曲と趣向で演奏し、お子さんも楽しめるクリスマスソングを一緒に歌うなど、すてきなピアノの音色を楽しみました。



令和6年3月に開催される講座などのご案内

- * 会場は、男女平等センター「ブーケ21」です。
- * 開場はいずれも開始時刻の30分前です。
- * 募集は広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」発行後です。申し込み方法など詳しくは広報紙「区のおしらせ ちゅうおう」をご覧ください。
- * 「託児」は申し込み締切日および定員があります。

申し込み・問い合わせ先

電話またはファクス (①講座名 ②氏名・ふりがな ③電話番号 ④区民カレッジ参加の有無をご記入ください。) でお申し込みください。男女共同参画講座(講演会)は中央区ホームページの電子申請からお申し込みいただけます。

申し込み・問い合わせ先
男女平等センター「ブーケ21」
(中央区湊一丁目1番1号)

電話番号 **03-5543-0651**
FAX 番号 **03-5543-0652**

中央区ホームページ 電子申請 検索



電子申請 (講座申し込み)
QRコード

多様性×防災

～だれひとり取り残さない防災対策とは？～

- 日 3月13日(水) 午後6時30分～8時30分
- 講 五十嵐 ゆかり (聖路加国際大学 看護学部教授)
- 内 防災における女性やLGBTQなど多様な人々への配慮について学び、家庭や地域の防災対策に活かすための講座です。
- 対 どなたでも 定 30人 (先着順)
- 料 無料 託 なし 掲 2月11日号

男女共同参画助成事業
スペシャルオリンピックスの活動と平等

- 日 3月16日(土) 午前10時～12時
- 講 高橋 久雄 (歯科医師 医療法人社団 有心会 理事長)
- 内 長年歯科医師として従事され、地域貢献(町会活動)、「だれひとり取り残さない社会」を目指し、スペシャルオリンピックス・ヘルシーアスリート委員会で活動してきた想いや共生の在り方などをお話いただき、心豊かに生きていくすべを学びます。
- 対 どなたでも 定 40人 (先着順) 料 無料
- 託 なし 掲 2月11日号

申 2月13日から3月14日までにURL:QRコードの申込みフォームから必要事項を入力し申し込む。
<https://forms.gle/b5TCe4e8XAvEyesF7>
主 中央区女性ネットワーク
jyoseinet.event@gmail.com



春のアロマケア

～季節の変わり目からだをいたわる～

- 日 3月19日(火) 午前10時～11時30分
- 講 桑本 友紀 (アロマセラピーケアサロン アトリエア イシス主宰)
- 内 春の花粉症シーズンを前に、つらい症状のセルフケアにも役立つアロマセラピーを学ぶ講座です。
- 対 区内在住の幼稚園や保育園に入園していない子どもの保護者 定 12人程度 (先着順)
- 料 無料 託 あり 掲 3月1日号

自分も大切 あなたも大切
わたしにできることは？

～モラルハラスメントを理解する～

- 日 3月28日(木) 午後6時30分～8時30分
- 講 高山 直子 (カウンセラー・公認心理師)
- 内 モラルハラスメントは、それが暴力だと認識しづらく、相談につながりにくいといわれます。講座では、誰にとっても身近なモラルハラスメントについて、基本的な情報や知識を得ます。
- 対 どなたでも 定 30人 (先着順) 料 無料
- 託 あり 掲 2月21日号

日 日時 講 講師 内 内容 対 対象など 定 定員
料 料金 託 託児 (申し込み締切日、定員あり)
掲 「区のおしらせ ちゅうおう」掲載号
申 申し込み 主 主催

報告

令和5年度 中央区男女共同参画リーダー研修

日帰りバス研修

地域における男女共同参画を推進するためのリーダー育成を目的に研修を実施しています。



「働く女性のおゆみ展」を見学



広大な敷地内見学中



正面玄関集合写真

次に、専門員による講義があり、前半はNWECCの沿革、男女共同参画推進の意義、ジェンダーギャップ、女性を取り巻く法律の動向と立場の変遷を共有しました。

まず、ボランティアの案内で施設を見学しました。研修室、調理室、美術工芸室、音楽室、お子さんを預かる幼児室など、さまざまなプログラムに対応できることが分かりました。

10月18日、中央区女性ネットワークと中央区の共催により、男女共同参画リーダー研修が開催されました。今年は、埼玉県嵐山にある「国立女性教育会館（NWECC：ヌエック）」を訪問しました。

次に、専門員による講義があり、後半は「令和5年版男女共同参画白書」の内容をふまえ、昭和モデル（固定的性別役割分担）から令和モデル（全ての人が希望に応じて、家庭・仕事場で活躍できる社会）への転換を目指し、職業観・家庭観の多様化が課題との説明がありました。

館内にある「女性教育情報センター」は男女共同参画や女性・家族に関する専門図書館で、図書の貸出、レファレンスサービスも受けられるとのことでした。

後半は「令和5年版男女共同参画白書」の内容をふまえ、昭和モデル（固定的性別役割分担）から令和モデル（全ての人が希望に

参加者代表

渡辺 久剛（わたなへ ひさよし）

「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者等や交際相手からの暴力（DV）をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 **03-5543-0653**（相談無料、秘密厳守）

電話相談（予約不要） 毎週月曜日 10:00～16:00（ただし祝日、年末年始を除く）

面談相談（予約制） 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30
（ただし祝日・休日、年末年始を除く）*託児付き（要予約）
上記以外の時間でも、男女平等センター開館時は予約を受け付けます。

男性電話相談をご利用ください

職場での人間関係や夫婦関係、配偶者や恋人からの暴力、生き方などさまざまな不安や悩みについて、専門の相談員がお話を伺い、解決の道を一緒に考えます。お気軽にお電話ください。

相談専用電話番号 **03-3495-7770**（相談無料、秘密厳守）

電話相談（予約不要） 毎月第3水曜日 15:00～20:00

「ブーケ21」へ来てみませんか？

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができる地域社会を目指す拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 中央区湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651

◆開館時間 午前9時～午後9時
（12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く）

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車
A2・B3出口 徒歩3分
- 都バス「東15」（深川車庫前⇄東京駅八重洲口／豊洲駅前・明石町経由） 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」 鉄砲洲下車 徒歩3分
入船三丁目下車 徒歩3分
「北循環」 八丁堀駅下車 徒歩3分

